

寄稿

# 「日弁連の2015年会務執行方針に物申す」



武本 夕香子 弁護士  
(兵庫県弁護士会)

2015年の日弁連心ある人は、言わずとも会務執行方針が日弁連分かっておられるでしょう。ホームページで公表されています。([http://www.nichibenren.or.jp/activity/policies/policy\\_2015.html](http://www.nichibenren.or.jp/activity/policies/policy_2015.html))。3万6000名余りの日

本弁護士会会員に対する理事としての誠意ある処「基本姿勢」の冒頭で「1万1676名もの会

慢と取られたり、「自分は最多得票数を取り、ほとんどの単位会で多くの票を獲得したのだから、自分のいうことに逆らうべからず」と取られたりしかねませんから、適切な表現ではなかったと思

「基本姿勢」第1項において「日弁連は、井戸やコップの中のような議論に基づく自分たちだけの「正義」を、声高に主張すればそれでよいというものではないと、現在の選挙の時点では、現在の全会員3万6000人余りから2000人余りが少なかつたとしても

この部分の問題点は、意味が不明確で、全体として誹謗中傷と変わらな

## 第1 基本姿勢について

まず、「基本姿勢」の導入部分は、「分け入っても分け入っても青い山(山頭火)」という、よく引

「基本姿勢」第1項において「日弁連は、井戸やコップの中のような議論に基づく自分たちだけの「正義」を、声高に主張すればそれでよいとい

正義もありそうですし、市民の「理解と信頼を得ることができない正義

し方であると考え、筆を執ることにしました。述べたいことは、たく

慢と取られたり、「自分は最多得票数を取り、ほとんどの単位会で多くの票を獲得したのだから、自分のいうことに逆らうべからず」と取られたりしかねませんから、適切な表現ではなかったと思

「基本姿勢」第1項において「日弁連は、井戸やコップの中のような議論に基づく自分たちだけの「正義」を、声高に主張すればそれでよいとい

正義もありそうですし、市民の「理解と信頼を得ることができない正義

らな継続性、そして責任感が重要です。「会員と弁護士会の心と力を二つに合わせる必要があり

「基本姿勢」第1項において「日弁連は、井戸やコップの中のような議論に基づく自分たちだけの「正義」を、声高に主張すればそれでよいとい

「基本姿勢」第1項において「日弁連は、井戸やコップの中のような議論に基づく自分たちだけの「正義」を、声高に主張すればそれでよいとい

先頭に立って市民を説くべきだと思います。司法は、立法や行政